

組合だより
JA **おからく**

'22

2

月号

vol.236

令和4年2月14日発行

発行：おかやま酪農業協同組合
責任者：小椋 孝史
津山市川崎94-1
☎(0868)26-1101

令和3年度
「牛乳大好き！絵画コンクール」受賞作品



最優秀賞 県知事賞 赤磐市立山陽小学校4年 森 花音

—絵の説明— まだやったことのない乳しぼりをしているところをかきました。弟は牛乳が大好きなので私がしぼった牛乳を飲んでいました。しぼりたてなのでおいしそうな顔にしました。やさしそうな牛さんにしたかったので目やまつ毛を工夫しました。毛なみも写真や本を見て見えた色を細かくかきました。

令和3年度下期乳用牛体格審査報告

令和3年度下期牛群審査及び後代
検定娘牛にかかわる体型調査が令和
3年11月24日から12月1日にか
けて、(二社)日本ホルスタイン登録
協会、植原友一郎審査員により実施
されました。

今回の審査では、ホルスタイン種
8戸・156頭(牛群奨励審査
2頭含む)、ジャージー種 1戸・
12頭、体型調査 11戸・90頭、ロ
ボット調査事業 1戸・19頭、合計
277頭の審査を行いました。

その中でも、岡山市 妹尾優佳さ
ん所有、ヒールクレスト サンチエ
ス クツク号(平成28年1月14日
生、4産)が90点(EX-2E)を
獲得されました。

ジャージー牛においても、真庭市
中国四国酪農大学第2牧場所
有、カヤベ ロウ バーブ カボス
号(平成28年4月11日生、4産)が
89点を獲得されました。なお、90点
以上獲得牛が7頭(ホルスタイン7
頭)となっています。初産牛におい
ては、84点を8頭獲得しています。
今回の審査および調査にご協力が
いただいた組合員の皆様、大変ありが
とうございました。今回の審査の際
もよろしくお願いいたします。

(生産支援課)

令和3年度下期牛群審査成績高得点牛

ホルスタイン種				
市町村	所有者氏名	名 号	年 齢	決定得点
岡山市	妹 尾 優 佳	ヒールクレスト ホーリー スター	3-11	90
真庭市	(有)長恒牧場	マラソン ゴールド ダイヤモンド	4-06	90
津山市	辻 賀 裕	T K アットウッド R V ホープ マーク	5-03	90
岡山市	妹 尾 優 佳	ヒールクレスト スパークリング シーク	5-03	90
真庭市	(有)長恒牧場	ロンゲスト ビューティ デンプシー チエケラツチヨ	5-04	90
津山市	辻 賀 裕	H L S ジョハナ キヤピタルゲイ	5-09	90
岡山市	妹 尾 優 佳	ヒールクレスト サンチエス クツク	5-10	90(EX-2E)
岡山市	妹 尾 優 佳	ヒールクレスト ベイビット アヴー	4-01	89
岡山市	妹 尾 優 佳	ヒールクレスト ダiamondバック ケイ B フタゴ	4-07	89
笠岡市	株Farm Luckyhon	クボー ブラクストン メリー	4-10	89
真庭市	(有)長恒牧場	ロンゲスト ユリアナ G C チヤネラー	6-01	89
岡山市	有 安 力	A L I C E セレブ ブラクストン セレブリテイ E T	7-00	89
ジャージー種				
市町村	所有者氏名	名 号	年 齢	決定得点
真庭市	(公財)中国四国酪農大学校	カヤベ ロウ バーブ カボス	5-07	89
初産で84点				
市町村	所有者氏名	名 号	年 齢	決定得点
真庭市	(公財)中国四国酪農大学校	カヤベ セイエラ クラツシュ ガイア	2-01	84
岡山市	妹 尾 優 佳	ヒールクレスト マウイ ブチコ フタゴ	2-02	84
津山市	吉 原 直 樹	グランデール クラツシュ 140 ノーザンブルー	2-03	84
真庭市	(公財)中国四国酪農大学校	カヤベ セイエラ コスモポリス リレ	2-03	84
真庭市	(有)長恒牧場	ロンゲスト キングスウェイ ユニクス E T	2-06	84
岡山市	妹 尾 優 佳	ヒールクレスト モネ ジレツピー	2-06	84
真庭市	(公財)中国四国酪農大学校	カヤベ セイエラ シルバー アクア	2-11	84
津山市	辻 賀 裕	T K ベルベット コルベット チーフ レデイ 2 E T	3-05	84

県議会事務局訪問報告

岡山県酪農政治連盟美作支部

例年行われていた、美作地区選出の県議会議員の先生方との懇談会は、前年と同様に新型コロナウイルスの影響により中止となりました。



県議会事務局訪問
(右から小村委員長・本山県議・神宝議長・市村県議・村岡・矢谷両副委員長、清水事務局)

そこで、昨年同様に、酪政連美作支部の小村雅紀委員長、村岡真一副委員長、矢谷拓士副委員長および事務局にて、令和3年11月26日に県議会事務局を訪問いたしました。

当初、県議会議員の市村仁先生および本山絃司先生にお会いする予定でしたが、当日は、お二人だけでなく、神宝謙一議長ともお会いすることができました。意見交換の中で、要請書の作成について、かなり具体的なご指導もいただき、今後の取り組みについて、大変参考になりました。また、当日お会いできなかった先生方には、要請書を後日発送させていただきます。

今年も昨年同様に、新型コロナウイルスの影響で、要請書の提出のみとなってしまうましたが、日程調整をしていただいた、市村先生をはじめ、お忙しい中、予定を合わせていただいた神宝議長、本山先生にこの場をお借りして、お礼を申し上げます。ありがとうございます。

(事務局津山支所)

令和3年度全国優良畜産経営管理

技術発表会

11月26日、「令和3年度全国優良畜産経営管理技術発表会」が、東京都「都市センターホテル」にて、全国各地から優良な畜産経営者8名が集結し開催されました。今回は新型



表彰式(右から3番目が妹尾さん)

コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般参加なしのWEB開催という形になりました。

おかやま酪農業協同組合から、岡山市(津山地区)の妹尾 始さんが「これが家族経営(わたしたち)の生きる道」と題して、発表されました。「限られた労働力の中で中途半端に多くのことをするのはなく、牧場が置かれている環境や条件を分析し、得意分野に特化することが大事である」というお考えのもと、ご家族3人の労働力ながら、極めて優秀な経営を実現されております。

他の発表者の方々も、飼育する家畜は違えど高い志を胸に柔軟で興味深い経営をされていて、大変有意義な発表大会でした。皆さんに共通されていたのは、動物・人・機械など身の回りのものをとても大切にされていて、魅力的なお人柄が表情や発表内容からもひしひしと伝わってまいりました。人との距離を図らなければならぬ難しいご時世ではありますが、前向きで力強い発表を聞かせていただき、希望のお裾分けをいただきました。ありがとうございます。

(津山支所)

TURTLEコラム「子牛の寒冷ストレス対策について」

全国酪農業協同組合連合会 大阪支所 中四国事務所 亀岡 祐斗

いつもお世話になっております。
寒い日が続きますが、皆様いかが
お過ごしでしょうか。

今号では「子牛の寒冷ストレス対
策」について掲載させていただき
く思います。

寒冷ストレスとは

子牛は気温15℃以下になると寒冷
ストレスを受け始めます。

15～20℃の範疇であれば温度変化
への対応はたやすいですが、15℃を
下回ると体温を保つことが難しくな
ります。さらに、1日の中で温度変
化が大きかったり、風にさらされる
とよりストレスが加わります。

離乳前の子牛の疾病要因

子牛の疾病を招く要因はさまざま
ですが、初乳給与とマネジメントの失
敗による免疫移行不全と環境変化に
対する飼養管理不足が大きな要因と
なっているようです。

1. 寒冷ストレス

若齢子牛への寒冷ストレスは疾病
の引き金となるリスクが高く、子牛
にとって適応が困難な状況です。冬
に病気が多発する場合は大きな要因
の一つになっているかもしれない。

2. 摂取カロリー

寒冷ストレス下において子牛の維
持エネルギー要求量は上がります。
したがって、適正温度管理時よりも
代用乳の給与量を10～20%増やす必
要があります。

寒冷への対策

寒冷に対する、実際の対策は大き
く分けて新生子牛への適切な管理、
初乳、栄養給与、環境の4つが必要
になります。

1. 新生子牛への管理

とにかく体毛を乾かすことが大切
です。

体毛が濡れているとそれだけで体
温を奪われ、体温保持が難しくなり
ます。乾かすことでふわふわした毛
になり空気を含むことで断熱効果も
持ちえます。しっぼの付け根、わき
の下なども忘れずに乾かすようにし
ましょう。

2. 初乳給与

出生直後の子牛は体脂肪率4%ほ
どしかなく、寒さにとっても敏感です。

子牛の体脂肪のうち、約40%が褐
色脂肪細胞（脂肪を分解し熱を生む
細胞）で、体温維持のための予備的
な機構を備えています。熱生産
が行われる体積に比べて放熱する体

表面積が大きいことから、外気温
が低いと非常に影響を受けること
になります。難産で産まれた場合
などは、さらに熱生産能力が低下
します。

初乳という免疫獲得のためと
いう印象が強いかもしれませんが、脂
肪とタンパク質も高濃度に含まれ
ており、最適なエネルギー補給を
担っています。そのため、全酪連
の初乳代用製品（グッドスタート
プレミアム）には油脂が配合され
ております。

3. 栄養給与について

エネルギー使用の優先順位は、
①生体維持、②免疫維持、③成長
です。

寒冷ストレスの増加に伴い、エ
ネルギー要求量は上がります。

対策としては

・ 哺乳量増給

1回あたりのミルク給与量を
増やす、哺乳回数を増やす（カー
フスター等）の固形飼料から
の栄養補給で不足分を補填する
には限界があるため、場合に
よっては哺乳回数を増やす対応も
有効）



・ エネルギー濃度を上げる
冬季のみ脂肪の高い代用乳を選

拭する

などが挙げられます。

その他、調乳時のお湯の温度、子牛が飲むミルクの温度、最初の子牛から最後の子牛へ哺乳するまでに温度が子牛の体温より低くなっているか、なども確認してみてください。

スターター摂取量は水の摂取量に依存します。スターター摂取量の4倍の水を飲みますが、その際は38℃くらいの温かいお湯の方が、小さい子牛は好むようです。

4・環境

新鮮な空気と温かいベッドがあると非常に良いです。

床がコンクリートであれば、冬場は非常に冷たくなります。床が湿っていたりすると、子牛の体温も奪われやすくなります。

敷料の理想的な量は、子牛と床の間に10～15cmほどの敷料があると良いです。麦稈などは子牛の寝床として最適で、空気を含んだ層を作るため保温性が良いです。

他に、湯たんぽやカーフジャケットなども有効です。（全酪連では子牛用のジャケット…モーベストを扱っております）

この冬、辛い寒さが続きますがでることから対策して元気な子牛を育てあげましょう。

「供卵牛情報と採卵計画（3月分）」について

岡山県農林水産総合センター 畜産研究所

3月の採卵計画をお知らせします。

ご利用の場合やより詳細な情報が必要な場合は、最寄りの家畜保健衛生所、受精卵移植師の方等にご相談ください。

なお、供卵牛の評価を牛群検定成績から行うため、検定参加農家の方を譲渡対象としています。

また、採卵予定日や交配予定種雄牛は牛の体調・精液の確保状況等により、急遽変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。4月の採卵牛等は未定です。決まり次第お知らせします。来年度も引き続きよろしくお願いいたします。

上段：供卵牛（元系統）識別番号		牛群改良情報（2021.12月）				採卵 予定日
中段：交配予定種雄牛		評価 種別	指数名	数値	% 順位	
下段：改良の方向性						
O A C エメラルド ヨダー エクシー エボニー E T （エボニー） 1378071197		GEBV	総合指数	1654	4	3／10
			産乳成分	1435	5	
交配予定♂：パイנטツリー バーリー E T （米TPI第14位）			耐久性成分	203	18	
エクシーは名牛エボニーの系統で、乳量は平均的ですが脂肪量が圧倒的に多く、平均的な体格で、付着・高さ・幅などの乳器形状の良い牛です。今回は繁殖性に優れるバーリーを交配し、併せて乳頭配置・長さを改善し、より管理のしやすい牛を目指しています。			疾病繁殖成分	16	50	
			乳代効果	33842	38	
			長命連産効果	73588	6	
O A C キルケ バーリー キツシュ キヤロットK （コスモポリタン） 1390973011		GPI	総合指数	2586	1	
			産乳成分	2392	1	
交配予定♂：ピーク アルタ スピンク E T （ヤングサイア）			耐久性成分	114	34	
キツシュは名牛キヤロットケーキの系統で、中型のサイズで全体的にバランスの取れた牛です。ゲノミック評価値では前乳房の付着がやや弱く見えますが、乳頭配置・長さはロボット向きと言えます。今回はヤングサイアのスピンクを交配し、乳器の改善を図ります。			疾病繁殖成分	80	20	
			乳代効果	114542	2	
			長命連産効果	92258	2	

※色は上位20%以内を示します。

※EBV：推定育種価、GEBV：EBV+ゲノミック、GPI：ゲノミックのみの評価です。

※GPI評価の%順位は換算表を用いてEBVの%順位に換算しています。

令和3年度

「牛乳大好き！絵画コンクール」

作品展示のご案内

「牛乳大好き！絵画コンクール」の最優秀賞・優秀賞・優良賞の45点を12月1日から約1ヶ月間、まきばの館にて展示いたしました。

今回の展示は、2月7日～6月30日の期間、蒜山ジャージーランドにて予定しています。全ての作品を展示できないのは残念ですが、少しでも多くの方々に子どもたちの作品を見ていただけたらと思っています。蒜山ジャージーランドの営業は、2月は毎週火曜日・水曜日が定休日になっており、営業時間は10時～16時まで。3月～6月は無休、9時～17時までの営業となっています。3月以降の営業時間等は新型コロナウイルスの影響により、変更になる可能性があります。ご了承ください。

学校の春休み・GWにあわせての展示となっていますので、ぜひ来年度の「牛乳大好き！絵画コンクール」の参考にしていただければと思います。

(事務局 生乳課)



まきばの館での展示風景写真

消費税研修会の開催

12月16日、畜産担い手サポート事業の一環で、岡山東税務署 記帳指導推進官 園田志朗様を講師にお迎えし、消費税の研修会を行いました。今回は『はじめての消費税』と題

して、基本的な仕組みから教えていただきました。

また、令和5年10月1日に開始される適格請求書等保存方式（インボイス制度）やe-Taxについても説明していただきました。

日頃よく耳にする「消費税」ですが、実際にはよく分からないことが多く、初めて耳にする言葉もありましたが、丁寧に分かりやすく説明していただき、少しは理解ができたのではないかと思います。

研修会のようす

この畜産担い手サポート事業は、後継者への円滑な経営継承や、法人経営への雇用就農といった担い手の育成・確保の取り組みを支援する目的となっています。

今後も皆様の要望をお聞きしながら勉強会など開催していきたいと思っています。

(生産支援課)

おからく青年部研修

おからく青年部は、12月14日に視察研修会を開催し、真庭市蒜山の（公財）中国四国酪農大学第一牧場と入澤信仁牧場を訪問しました。

（公財）中国四国酪農大学第一牧場では、現在経産牛40頭と育成牛40頭を飼養されています。

今回は、関牧場長の案内により、搾乳牛舎とバルク室と和牛育成牛舎を見学させていただきました。現



（公財）中国四国酪農大学第一牧場で関牧場長と一緒に



入澤さんご家族を囲んで

状、種雄牛のみの改良では限界があるため、今後は受精卵移植を活用することにより、改良スピードを速めたいそうです。搾乳牛舎では、個体毎に黒板に1日5回の餌の給与量を記入して、給餌担当者が変わってもわかる体制になっていました。また、未經産牛はすべてゲノム検査を実施し、育成段階で遺伝的能力の優劣を評価して改良に役立ててい

るそうです。さらに、和牛育成牛舎も新築し、和牛子牛を30頭飼養されていた。限られた条件の下、さまざまな技術を取り入れ、能力の高い牛を飼養されている印象を受けました。

入澤信仁牧場は、10年前にジャージー牛からホルスタイン牛に変更され、現在は経産牛90頭と育成牛30頭を飼養されています。牛群を3群に分け、6頭ダブルの12頭パーラーで、奥さんと後継者である息子さん、従業員の方で搾乳しています。屋根の構造上、牛舎全体が明るく開

放的な印象を受けました。

また、牛舎横には、びっしりと搾乳用タオルが干してあり、衛生面にはとても気を付けられている印象も受けました。

最後になりましたが、どちらの農場も快く視察を受け入れてくださり、当日は予定時間を超過するほど熱心に牛舎内をご案内いただき、ありがとうございました。

参加していただいた青年部会員の皆様、お疲れさまでした。

（生産支援課）

おからく女性部の活動について

おからく女性部は、牛乳の消費が低迷する中、イベントや料理講習会等で消費拡大運動に力を入れてきました。しかし、令和2年・3年と新型コロナウイルス感染症拡大の影響でさまざまな行事やイベントが中止となってしまいました。

そこで会員の皆様に牛乳を使った料理やデザートのお配りし、家庭で消費いただくか、もしくはお友達や地域の方にお配りして牛乳・乳製品の消費拡大を呼び掛けていただきました。

1日も早く元の日常に戻り、以前と同じ活動ができるように願う



（生産支援課）

ばかりですが、これからも消費拡大活動を継続していききたいと思います。

酪農経営診断研修会に参加して

花本 和希（津山支所）

この度、畜産協会主催の酪農経営指導研修会に参加させていただきました。この研修会は、基礎編↓応用編↓実践編と三部構成になっており、おからく・県庁畜産課・県民局畜産班・家畜保健衛生所の入組（入庁）から7年以内の補助事業に携わる業務を行っている職員を対象に開催されました。

いざ参加してみると、入組6年目の私は参加者の中でも年上の方で、祇園精舎の鐘の音が聞こえ、諸行無常の響きを感じました。（笑）

研修はといいますと、決算書の見方や青色申告の基礎知識から始まり、最終的にはグループに分かれて経営調査等で得られたデータを基に



経営状況を把握し、その中から課題を抽出して事業計画の妥当性の確認をするといった内容でした。

算出した数字の名称から、そこから読み取る経営の動向まで少人数でみっちり丁寧に教えていただき大変勉強になりました。経営診断のシステムに書面の数字を当てはめて、それを拾ってあげれば経営の傾向や課題がみえてきました。重要視しなければならぬのはここからで、酪農家さんの人となりやライフスタイル、信頼関係などを踏まえた上でご提案させていただき、あくまで最終決定は酪農家さんが判断することであるということです。

私は仕事をする上で念頭に置いていることがあります。それはイソツ

ブ寓話の『北風と太陽』の物語です。北風と太陽が男のコートをどちらが脱がすことができるかというお話しです。力で押さえつけるより、

自発的に行動するように導ければ、良い流れがさらに良い流れを生み思ひもよらぬ程の力になると思っています。実際に仕事をしていても、最後は人と人だなど感じる必要があります。今回の研修で出会い、同じ時間を共有し、同じ問題の解決に取り組んだことで生まれた信頼関係をこの先も大切にし、これからの岡山県の酪農の発展に少しでも貢献できるように頑張ります。貴重な機会をありがとうございました。

日野 翔太（津山支所）

畜産協会主催の「酪農経営指導研修会」に参加させていただきました。



た。この研修会は3回にわけて開催されました。1回目に経営の診断に必要な基礎知識やポイントを教わり、2、3回目は過去に経営診断を依頼された農家さんのデータを、実際に参加者全員で分析、改善提案を行う、という内容でした。

経営診断を行う上で大切なことは「正確な記録」と「対話」です。記録が正確でないと、そこから導き出される予測が曖昧なものとなり、効果のある対策をうつことができません。また、対話を行うことで「数値化できない牧場の実態」を把握することもできます。農家さんとしつかり話をして、いろいろ聞けるようになることが大切です。農家さんとのある程度の信頼関係を築いて、はじめて話ができるようになることと思います。



また、経営診断する側は「提案する」ことしかできないということも肝に銘じておかなければなりません。提案したことに對して、やるかやらないか決めるのは農家さんです。なので「こうした方がきつといい」という思いがあったとしても、決して出しゃばりすぎてはいけないということをお話していただきました。そして、こちらの提案を受け入れていただいた場合は、提案した責任が生じるということも、同時に忘れてはならないことだと教わりました。自身の提案が農家さんの経営に影響を及ぼす、ということを常に念頭に置く必要があります。責任の重さを改めて学びました。

研修日の最後に「関係機関同士の協力を促すことも、この研修会の目的の一つ」というお言葉をいただきました。



ました。各組織が別々で動くのではなく、協力して取り組むことが大切です。これから起こるさまざまな課題に對して、個々の力で動くには限界があると感じます。関係機関も協力しあいながら行動していくことで、大きな課題の解決にもつながると思います。この度は貴重な学びの機会をいただき、ありがとうございました。

片山 瑛二（総務部経営支援課）

入組4年目で補助事業（中酪事業、酪農共済の担当をしております。経営支援課の職員として、農業簿記や経営診断について学び、今まで以上に農家の経営状況を正確に把握できるようにしたいと考え、今回の研修に参加させていただきました。

本研修は県・畜産協会・おからくの若手職員が参加し、3日間の日程で前半は座学を中心に農業簿記及び経営診断の基礎知識を学び、後半は3名ずつのグループに分かれて2事例分のケーススタディ（事例研究）を行いました。

経営診断の手順は①情報収集、②分析、③提案です。①情報収集において、実際に牧場へ足を運び農家の話を聞き、書類から分かる情報だけでなく数値化できない実態を把握することが重要だということを学びました。農家から実情に即した話を聞くためにも、まずは日々の業務の中で顔と名前を覚えていただき、その上で信頼関係を構築していきたいと思っています。

②分析及び③提案において、ケーススタディで実際に経営診断を行う中で、農家の求めることはそれぞれ違い、経営診断し数字を根拠に提案することはできても、決定するのは農家自身であり、その提案を受け入れてもらえるかは別問題であるという難しさを感じました。

今後、補助事業を担当する中で、農家の思いや求めることに寄り添うことと、経営状況及び成果目標達成の可能性を分析し申請可否を判断することのバランスが重要だと感じました。今後もおからく役職員及び関

係機関とチームを組み、協力しながら都度適切な対応を検討していきたいと思っています。

このような貴重な学びの機会をいただきありがとうございます。まだまだ実力不足ですが、今回学んだことを日頃の業務に活かし、業務を通じて農家へ還元していけたらと思います。



酪農経営診断研修会参加者の皆さん

ひろば

毎朝の日課

南支所西大寺事務所

豊浦陽二郎

私の毎朝の日課は、牛乳とプロテインを飲んで散歩に行くことです。

はじめは、体力づくりのためにマラソンを始めようと思いました

が、しんどくて散歩に切り替えたところ、今まで三日坊主だった私が3ヶ月続いています。

冬寒くなつて起きられなくなるんじゃないかと心配していましたが、真っ暗の中5時に家を出て月を見ながら歩いていきます。

毎日続けることを目標に楽しめるよう、散歩コースや時間を変えたり音楽を聞いたり工夫



しています。徐々に体もほぐれ、心にも余裕ができるようになりました。

散歩の大きな効果のひとつは気分転換ができることだそうです。

朝日をあびながら歩いていると季節の変化を肌で感じることが出来ます。

今年は、子どもと一緒に散歩ができれば嬉しいなあと思っています。

ミルクレシピ紹介

基本のホエイ鍋

“チーズをまとお肉、野菜がおいしい”

★材料（2人分）

- A { 牛乳……………400ml
砂糖……………小さじ2
米酢……………大さじ2
ポン酢しょうゆ……………大さじ4～5
（お好みで調整）
豚バラ肉……………200g
（しゃぶしゃぶ用・脂身の少ないもの）
白ねぎ……………1/2本
水菜……………75g
絹ごし豆腐……………1/2丁（200g）
生しいたけ……………1パック（6枚）
メのごはん……………適量
（鍋つゆの量で加減）

<おすすめの具材>

牛薄切り肉、トマト、白菜、舞茸、しめじ、えのきだけ、油揚げ、ニラ、にんじん

★作り方

- ①白ねぎは斜め千切りにする。水菜は7cmに切る。絹ごし豆腐はペーパーで水分をきり、ひと口大に切る。生しいたけは笠に切込みを入れ、軸は千切りにする。
 - ②鍋にAを合わせて底を混ぜながら煮立てる。
 - ③沸々してきたら米酢を加え、蓋をして火を止め3分おく。さっくり混ぜ、牛乳が分離したら、ポン酢しょうゆを加えて味を調える。
 - ④鍋つゆに野菜、豆腐を加え、豚肉に火を通しながら、豚肉で野菜をくるんでいただく。
 - ⑤残った鍋つゆを沸かし、メのごはんを加え、鍋つゆを含ませるようにして煮る。
- ※味が薄い場合は、ポン酢しょうゆを少量かけてください。

★ポイント

- ・牛乳を分離させるから、ミルク鍋なのに鍋つゆが透明！
- ・アクセントにごま油またはラー油、七味唐辛子をかけてもおいしいです。
- ・牛乳で作る鍋つゆは最後の一滴までおいしく召し上がれます。

（一社）Jミルクサイトより レシピ：料理家・管理栄養士 小山浩子さん



農林中央金庫より借入している搾乳導入資金を証書借入金に転化することを承認した。

○飼料価格高騰対策について

長恒組合長より酪農一般情勢等について報告された。

○令和３年度生乳需給安定化対策

令和3年度10月の生乳需給安定化対策の進捗状況等について報告した。

○搾乳牛導入資金極度額の見直しについて

現在設定している搾乳牛導入資金極度額について更新することとした。

○搾乳牛導入資金の長期転化借入に

農林中央金庫より借入している搾乳導入資金を証書借入金に転化することを承認した。

○飼料価格高騰対策について

飼料価格高騰に対する生産者の生産基盤維持を最重要課題とし、価格高騰対策を講ずることを承認した。

○高梁大池山育成牧場利用組合からの要望について

昨年度に引き続き、高梁大池山育成牧場利用組合からの運営支援要望について協議し、支援することを承認した。

○生乳受託販売に係る業務の委託契約について

生乳受託契約時の業務内容について内容を確認した。

○職員の年末手当支給について

令和3年年末手当の支給について承認した。

○報告事項

酪農後援会の開催について、中央

このたび、勝央町 岸本一茂様より見舞返礼金として、真庭市 馬場明雄様より香典返礼金として、（一財）おからく教育振興会に金一封をご寄付いただきました。

事業主旨に従い、有効に活用させていただきます。
ありがとうございました。

団体での新型コロナウイルス需要喚起対策等について、令和4年度脱粉在庫削減対策について、経営動態調査について、生乳検査通知システムの変更に
ついて、組合員数・戸数の状況について報告した。

令和3年12月23日、第253回理事会を理事11名、監事3名が出席し、開催した。

長恒組合長より酪農一般情勢等について報告された。

その後、次の事項を協議し、決定した。

○令和3年度生乳需給安定化対策

令和3年度11月の生乳需給安定化対策の進捗状況等について報告した。

○出資減口の申し込みについて

酪農中止者による減資申し込みが2件あり、やむなく2件の出資減口の申し込みを承認した。

○令和3年度仮決算に係る監事監査
の回答について

令和3年度上期仮決算に係る監事監査に対する回答をした。

○令和３年度全戸巡回意見に対する

回答

全戸巡回意見について協議し、1月を目途に組合員に回答することを承認した。

○乳質アンケート取り纏めについて

○鏡野CS蒸気ボイラー更新について協議し、指導方法を協議した。

鏡野CS蒸気ボイラー更新について内容を協議し更新業者を決定した。

○西大寺事務所トイレ改修工事について

西大寺事務所トイレ改修工事について内容を協議し、改修業者を決定した。

○報告事項

新年互例会について、令和4年各
ブラック&ホワイトショウの日程に
ついて、令和4年度希望園受託契約
について、全酪連監事研修会開催に
ついて報告した。

●
●
●
●
●
●
●
●
●
●
●

故 松下千春さんへ
感謝状贈呈

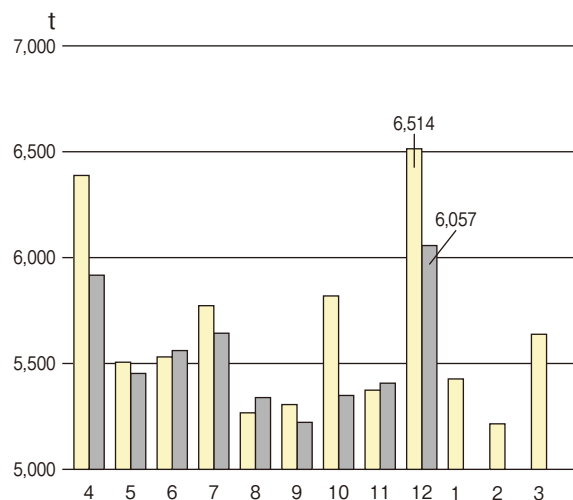
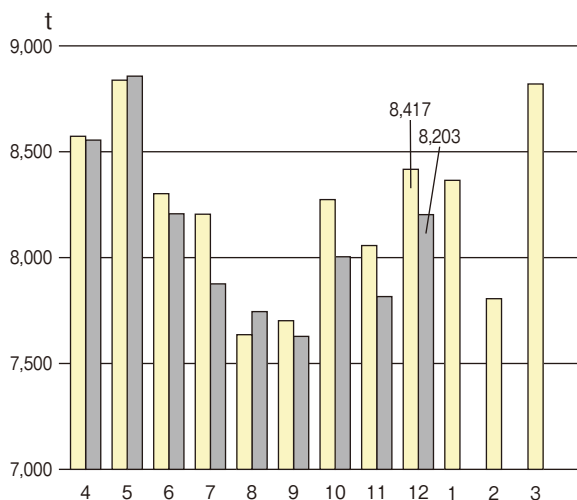
病氣療養中、昨年10月にご逝去されたおからく生乳課元職員 松下千春さんに、組合より感謝状を贈呈しました。

生前、岡山県産牛乳や酪農業界の情報発信役として活躍し、牛乳消費拡大においても多大な功績を残されました。組合への職場復帰を目指して、頑張っておられた松下さんに対して改めて感謝と、そしてご冥福をお祈りいたします。

おからく事業実績

生乳販売量(令和3年度) 生乳販売量(令和2年度)

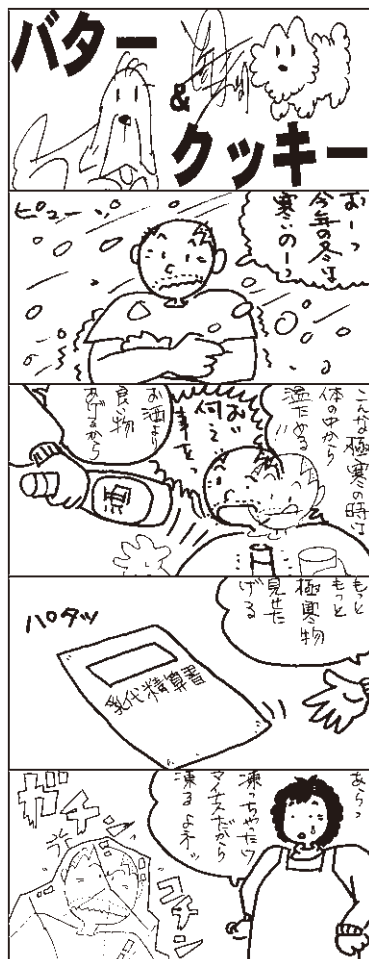
購買取扱数量(令和3年度) 購買取扱数量(令和2年度)



生乳統計

※中央酪農会議速報より抜粋

地域	月	生産量(トン)	用途別処理量(トン)			前年比(%)			
			飲用乳等向け	乳製品等向け	その他	生産	飲用	乳製品	その他
全国	12	608,392	283,246	153,641	171,505	103.1	96.8	100.0	119.3
	4~12	5,421,092	2,775,125	1,315,373	1,330,585	102.4	97.9	108.3	106.9
岡山県	12	8,163	7,457	543	163	97.4	95.5	127.5	107.9
	4~12	72,744	69,473	2,307	965	98.4	97.6	127.0	110.2
北海道	12	348,896	61,203	129,916	157,777	104.5	92.7	100.0	114.5



2月の主な行事

- 1日 セントラルジャパン Web会議
- 2日 中国B & W協議会 Web会議
- 4日 育成牧場地権者会議
- 西日本酪青女 Web会議
- 7日 定例監事監査(～8日)
- 9日 全酪連監事研修会 Web会議
- 10日 冬季登録事務担当者 Web会議
- 14日 津山支所運営委員会
- 16日 業務・酪農支援合同委員会
- 17日 総務委員会
- 21日 おからく女性部委員会 Web会議
- 22日 管理職会議
- 28日 理事会

北海道初妊牛価格

1月については、春分産を迎えて需要の高まりが期待されたものの、来年度の生産を見据えて価格面では様子見感が強く、平均価格は税込62万1千円(前月比8千円高)と持ち合いで推移しました。

2月については、更新需要による春分産の引き合いは底堅いものの、生乳生産の先行き不安に加えて飼料費の高止まりなど足踏み要素が多く、相場は持ち合いで推移することが予想されます。